

令和元年度 事業報告

社会福祉法人
筑紫野市社会福祉協議会

社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

令和元年度事業報告（主文）

『みなさん一人ひとりが福祉の主役』

2019年5月1日 「平成」から「令和」へと元号が変わり、新たな時代の幕開けとなった。当協議会においても、6月の任期満了にともない理事および監事の選任並びに、会長・副会長選出を行い新たな体制となり、役職員一丸となってスタートを切った。

多年にわたり市民福祉サービスとして行ってきた、移送サービス事業並びに、結婚相談事業について民間事業所の広まり等にもなう利用者の減少により、当協議会が担うべき一定の役割を完了したとの判断から事業を終了した。

「2025年問題」に向けて取り組みが急がれる地域包括ケアシステム構築においては、当協議会がこれまでも推進してきた高齢者の生きがいづくり・仲間づくりの場である「ふれあいいきいきサロン事業」に民生委員児童委員、福祉委員、福祉ボランティア団体の協力を得ながら推進強化を図った。さらに、生活支援体制整備事業においては、筑紫野市関係各課との協働により、コミュニティ単位や関係機関団体に対しての学習会を開催し、市民への啓発活動を積極的に行った。さらに、筑紫南コミュニティをモデル地区に指定して、コミュニティ活動や自治会活動、様々な社会資源などを集約した「地域版社会資源情報誌」を作成し、地域包括ケアシステム構築に向けた歩みを進めた。

令和元年12月に中国より発症した、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年3月3日より老人福祉センターを休館とし、3月に計画していた第10期福祉委員委嘱式を中止せざるを得ない状況となり、さらには、高齢者・障がい者・児童へのサービス提供にも大きな支障が生じている。いつまでこれが続くのかもわからない不安が国中を覆っているが、このような時だからこそ当協議会役職員が一致団結して、市民の福祉を支えることを強く誓い令和元年度の事業報告（主文）とする。

【1】事業内容（総務担当）

1 理事会の開催

実 施 日	回 数	主 な 議 題
5 月 29 日	1	・平成 30 年度事業報告及び決算について
6 月 12 日	2	・次期理事候補者の推薦について ・次期監事候補者の推薦について
6 月 21 日	3	・会長、副会長の選任について
10 月 28 日	4	・評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・令和元年度第 2 回評議員会の招集について
12 月 2 日	5	・職員給与規程の一部改正について ・令和元年度第 1 回補正予算について
3 月 18 日	6	・次期理事候補者の推薦について ・次期監事候補者の推薦について ・事務局長の採用について ・次期評議員選任候補者の推薦について ・職員給与規程の一部改正について ・嘱託職員就業規則の一部改正について ・臨時職員就業規則の一部改正について ・令和元年度第 3 回評議員会の招集について ・令和元年度第 2 回補正予算について ・令和 2 年度事業計画及び予算について

2 評議員会の開催

実 施 日	回 数	主 な 議 題
6 月 21 日	1	・次期理事の選任について ・次期監事の選任について ・平成 30 年度事業報告及び決算について
12 月 11 日	2	・令和元年度第 1 回補正予算について
3 月 30 日	3	・理事の選任について ・監事の選任について ・令和元年度第 2 回補正予算について ・令和 2 年度事業計画及び予算について

3 専門委員会の開催

実 施 日	回 数	主 な 協 議 事 項
10 月 28 日	1	・ 評議員の選任について（評議員選任・解任委員会）
2 月 26 日	1	・ 令和 2 年度事業計画（案）について（合同専門委員会）
3 月 25 日	2	・ 評議員の選任について（評議員選任・解任委員会）

4 福祉会員加入の促進

年 度 区 分	令和元年度		平成 30 年度		平成 29 年度	
	口 数	金 額（円）	口 数	金 額（円）	口 数	金 額（円）
一般会員 （1 口、250 円）	13,682	3,420,666	14,350	3,587,715	13,738	3,434,489
賛助会員 （1 口、2,000 円）	348	696,000	341	682,000	420	840,000
特別会員 （1 口、5,000 円）	187	935,000	195	975,000	223	1,115,000
合 計	14,217	5,051,666	14,886	5,244,715	14,381	5,389,489

5 寄付金の状況

年 度 区 分	令和元年度		平成 30 年度		平成 29 年度	
	件数	金 額（円）	件数	金 額（円）	件数	金 額（円）
一般寄付	20	687,300	14	519,728	11	452,431
香典返し	10	1,750,000	18	895,000	15	1,460,000
指定寄付	2	150,000	10	628,500	6	377,216
合 計	32	2,587,300	42	2,043,228	32	2,289,647

6 貸付事業

年 度 区 分	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
生活福祉資金貸付（件）	111	91	93

7 結婚相談事業

区 分 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
結 婚 相 談 事 業 (件)	361	462	410
成 婚 件 数 (組)	0	1	2

※令和 2 年 3 月末で事業廃止

8 お見合いパーティーの実施（結婚相談事業）

- ・ 第 1 回目 令和元年 9 月 28 日（土） 男性 15 名、女性 15 名参加
（第 2 回目を令和 2 年 3 月 14 日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止）

9 移送サービス事業

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で歩行が困難な方を対象に、自宅から病院等への送迎を行った。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
年間利用者延人数（名）	4	17	20
月平均利用者延人数（名）	1	1	2

※利用者の減少や移送車両の老朽化、また介護タクシー等他制度利用増に伴い令和元年 6 月末で事業廃止

10 老人福祉センターの運営（利用状況）

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者総数（名）	61,874	68,759	71,248

※敬老の日無料開放…………… 令和元年 9 月 16 日 利用者数 146 名

※カミーリヤフェスタ

老人福祉センター無料開放… 令和元年 10 月 6 日 利用者数 513 名

※令和 2 年 3 月 3 日から新型コロナウイルス感染拡大防止のためのカミーリヤ休館に伴い老人福祉センターも休館。

1 1 共同募金事業への協力

募金実績額 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
戸別募金 (円)	9,966,765	10,239,921	10,299,147
法人募金 (円)	2,225,629	2,221,691	2,269,802
イベント募金 (円)	555,280	413,643	295,155
そ の 他 (円)	2,402,683	2,623,349	2,029,945
合 計 (円)	15,150,357	15,498,604	14,894,049

※ 上記表中その他の内容 ⇨ 職域募金、募金箱募金、自販機収入、街頭募金
団体募金、個人募金、学校募金

1 2 機関誌（福祉だより）の発行

- ・ 4 回発行 全戸配布

1 3 その他

- ・ 研 修 ⇨ 9 月 6 日 市区町村社協会長・局長研修
- ・ 実習受入 ⇨ 8 月 16 日～9 月 19 日 社会福祉援助技術現場実習（大学生 2 名）

【2】事業内容（地域福祉担当）

1 ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成

- ・ 実施箇所 91 箇所

高齢者サロン 73 箇所

※コミュニティ毎内訳	二日市	19 箇所	山家	8 箇所
	二日市東	10 箇所	筑紫	10 箇所
	山口	6 箇所	筑紫南	6 箇所
	御笠	14 箇所		

子育てサロン 15 箇所

※コミュニティ毎内訳	二日市	3 箇所	筑紫	6 箇所
	二日市東	2 箇所	筑紫南	2 箇所
	御笠	2 箇所		

障がい者サロン 3 箇所（いずれも二日市地区）

助成箇所 87 箇所

- ・ サロン訪問支援回数 延べ 108 回
- ・ レクリエーション用具の貸し出し 延べ 251 件

2 ふれあいいきいきサロン連絡会

- ① 5月30日、31日 137名（合計）
 - ・ テーマ「認知症の方へのより実践にそくした対応」
 - 講師 地域包括支援センター認知症地域支援推進員（各包括）
- ② 9月20日、25日、27日、30日 136名（合計）
 - ・ テーマ「バスハイクについて、車いすの利用方法、行き先等の情報」
- ③ 2月27日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 福祉委員制度の推進

- ・ 実施日 ⇄ 通年
- ・ 研修等

1. 第1回研修会

実施日 令和元年7月2日（火）①10：00～ ②13：30～
 会 場 カミーリヤ視聴覚室
 テーマ 「高齢者の健康と安全・地域における高齢者支援」
 講 師 日本赤十字社福岡県支部 福田みどり 指導員
 参加者 147名

2. 第2回研修会

実施日 令和元年10月24日（木）①10：00～ ②13：30～
 会 場 カミーリヤ視聴覚室
 テーマ 「災害とボランティア活動」
 講 師 福岡県社会福祉協議会地域課 中島栄一 氏
 参加者 124名

3. 第3回研修会（委嘱書交付式）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
福 祉 委 員 数（名）	187	190	190
福祉委員設置済行政区数	76	77	78

※ 数字は、毎年3月末日の実績です。

4 筑紫野市民生委員児童委員連合会への協力・支援

民生委員児童委員、主任児童委員が、地域福祉の担い手として十分に実践活動を行うことが出来るよう研修会の開催や関係機関との連絡調整、組織運営のための理事会、定例会、部会の開催支援を行った。

5 介護者のつどいの開催

- ・ 内 容 筑紫野市及び近郊に在住の介護者同士の介護に関する情報交換や交流の場として、筑紫野市介護を考える家族の会と協働で介護者のつどいを開催。

- ・ 実施日 ⇄

①5月14日 … 参加者 90 名

「地域包括支援センターの役割」

講師：アシスト桜台 社会福祉士・介護支援専門員 深町一美 氏

②7月9日 … 参加者 98 名

「介護者のストレスケア」

講師：グループホームさわやかテラス二日市 田中順子 氏

③9月10日 … 参加者 36 名

「在宅支援～訪問歯科を知っていますか～」

講師：在宅医療支援歯科診療所 アスール歯科 院長 江崎 允宜 氏

④11月12日 … 参加者 108 名

「認知症について」

講師：医療法人牧和会・牧病院 福岡県認知症医療センター
理事長 牧 聡 氏

⑤1月14日 … 参加者 52 名

「日常生活における介護」

講師：日本赤十字社福岡県支部 馬場 久美 指導員

⑥3月

「リフレッシュバスハイク」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

6 障がい児者クリスマス会

- ・ 実施日 ⇄ 12月8日（日）

- ・ 内 容 ⇄ 学生ボランティアスタッフの協力を得て、市内在住の障がい児者とその友人・家族を対象に、相互の交流クリスマス会をカミーリヤ多目的ホール等にて実施した。

* 一般参加者…………… 22 名

* 学生スタッフ…………… 6 名

* 一般ボランティア…………… 1 名

* のため音楽隊（ボランティア）… 25 名

計 54 名

7 手話奉仕員養成講座

- ・ 内 容 ⇄ 聴覚障がいに対する理解と社会参加への協力の輪を広げていくことを目的に手話講座を行った。

講師 筑紫野市聴覚障害者協会

助手 筑紫野市手話の会

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
実施日・回数	5月8日～3月10日 (火・金曜日 46回)	5月8日～3月12日 (火・金曜日 46回)	5月9日～3月13日 (火・金曜日 46回)
受講者 (名)	15	29	32

※3月3日及び3月10日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8 分野別入門ボランティア講座

①入門拡大写本ボランティア講座

- ・ 実施日 ⇨ 6月14日、21日、28日、7月5日 (全4回)
- ・ 参加者 ⇨ 6名
- ・ 内 容 ⇨ 拡大写本作成の基礎的な技術・知識を習得し、視覚障害についての理解を深めた。
講師 ボランティア団体拡大写本うさぎ

②入門点字ボランティア講座 (夏休み点字教室)

- ・ 実施日⇨7月31日 (水)
- ・ 参加者⇨7名
- ・ 内 容⇨点字の基礎と初歩的な点訳技術を習得し、視覚障がいに対する理解を深めることを目的に親子で参加可能な講座を開催
講師：筑紫野市点字教室

③ボランティア入門講座

- ・ 実施日⇨2月21日
- ・ 参加者⇨13名
- ・ 内容 【1部】「ボランティアを始める前に・車いすを体験してみよう」
講師 社会福祉協議会地域福祉担当
【2部】「聴く力を身につけよう」
講師 日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡 郁雄 氏

9 ボランティア活動保険加入助成事業

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
加 入 者 数	1,760 名	1,853 名	1,646 名

10 ちくしの子育てサロン「ふれんずひろば」

- ・ 実施日 ⇨ 第1回 4月19日 …… 参加者 40組 89名 (保護者 42名)
第2回 7月5日 …… 参加者 85組 188名 (保護者 85名)
第3回 10月30日 …… 参加者 105組 235名 (保護者 105名)
- ・ 内 容 ⇨ 未就学児を持つ保護者同士の情報交換の場として、ボランティア団体と協力しカミーリヤ多目的ホールにて子育てサロンを開催。

1 1 サマーボランティアスクール

- ・ 内 容 ⇨ 子どもの頃からボランティア活動を行うことで、ボランティアについての理解や関心を深めてもらうことと世代間交流を目的に実施
(テーマ)「2020 スポーツが熱くなる！～障がい者スポーツを学ぼう～」
- ・ 実施回数及び参加人員
 - * サマーボランティアスクール ① 7月26日 ② 8月2日
③ 8月16日～17日(ワークキャンプ)
 - * 参加者…………… 小学4年生から中学3年生 10名
学生スタッフ 6名

1 2 福祉ボランティア団体助成事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 福祉ボランティア団体の自主性の育成、活動の活性化の支援などのために筑紫野市ボランティア連絡協議会の加入8団体に対して、活動費等の助成を行った。

1 3 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会の開催

- ・ 実施日 ⇨ 11月26日
- ・ 内 容 ⇨ 平成30年度における筑紫野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況の報告を行った。

1 4 生活支援体制整備事業の推進(受託事業)

高齢者等の生活支援・介護予防の提供体制の構築を目的に、ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、互助活動が活性化した地域づくりに取り組んだ。

※具体的取組(抜粋)

- ・ モデル地区(筑紫南コミュニティ)における地域版社会資源情報誌の作成
⇨ 「ちくなんライフガイド」の作成
- ・ 社会資源情報収集シート「すてき種」の配布及び集約
⇨ 上半期38件、下半期16件 計54件
- ・ 第一層協議体(つくしネット筑紫野)の運営
⇨ ①情報誌及び学習会における意見交換、協議体の愛称決定他(6月4日)
②地域包括ケア推進会議の進捗報告、グループワーク、各委員の活動共有他
(10月25日)
③視察研修(うきは市)
- ・ 事業推進に係る各種会議等への参加
⇨ ・ 地域包括ケア推進会議(6月、2月)
・ 自立支援型地域ケア会議(毎月・11回参加 ※3月は中止)
・ 庁内担当者会議(5/15、7/12、10/3、3/27)
- ・ コミュニティ及び健康福祉部との協議による地域包括ケアの啓発(支えあい学習会)

の実施等

実施日	地区・団体	参加者数
6/24	筑紫南コミュニティ運営委員会	22
7/17	御笠まちづくり協議会執行委員会	23
9/25	二日市東コミュニティ運営委員会	23
11/16	御笠コミュニティ	48
12/5	二日市コミュニティ	53
12/15	山家コミュニティ	72
12/21	筑紫南コミュニティ健康福祉部会	28
1/15	筑紫コミュニティ	46
1/16	山口コミュニティ運営委員会	20
1/18	二日市東コミュニティ	57
2/14	山口コミュニティ元気部会	19

計 411

1 5 福祉機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 介護用品の無料貸し出しを行った。（※ 但し、要介護認定を受けている方は介護保険を優先させる。）

福祉機器名 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
車 イ ス (件)	93	91	128
浴 槽 内 イ ス (件)	1	1	0
介護支援ベッド (件)	9	7	4
浴 槽 手 す り (件)	2	9	0
歩 行 器 (件)	2	1	1
シャワーチェア (件)	2	6	4
エ ア マ ッ ト (件)	1	1	11
ポータブルトイレ (件)	2	13	18
貸 出 総 合 計 (件)	112	129	166

1 6 行事用機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 行事用機器の無料貸し出しを行った。

年 度 福祉機器名	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
綿 菓 子 機 (件)	18	13	25
ポップコーン機 (件)	20	19	19
催事用テント (件)	9	10	

1 7 災害支援ボランティア

- ・ 他市町災害ボランティアセンターへの協力支援
9 月 18 日～9 月 23 日 佐賀県武雄市災害ボランティアセンター 職員 1 名派遣
- ・ 災害ボランティアセンター運営訓練
実施日 ⇨ 令和元年 10 月 26 日 (土)
参加者 ⇨ 社協職員 46 名
講師 ⇨ 福岡県社会福祉協議会地域課

【3】事業内容（暮らしのサポートセンター担当）

1 暮らしのサポートセンター事業（福祉サービス利用援助事業）の推進

- ・ 内 容 ⇨ 判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に「暮らしのサポートセンター」による福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）・相談事業・法人後見などを実施し、誰もが安心して地域の中で生活が続けられるよう支援を行った。また生活保護受給者を対象とした日常生活自立支援事業（福岡県社協受託事業）も引き続き実施した。

（日常生活自立支援事業／福岡県社協受託事業）

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
契 約 件 数 (件)	37	35	30
訪問支援件数 (延件数)	978	872	610

(暮らしのサポートセンター事業)

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
契 約 件 数 (件)	48	53	41
訪問支援件数 (延件数)	1, 040	1, 012	735

(法人後見事業)

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
受 任 件 数 (件)	4	4	2
訪問支援件数 (延件数)	176	144	95

※平成 26 年度より法人後見事業体制整備、平成 28 年度より受任開始。

2 不登校支援事業

- ・内 容 ⇨ 不登校の不安や悩みを共に考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成や不登校の基本的理解を促し、適切な子どもへの対応などを学びながら、家族が明るく元気に暮らせることを目指す講演会を実施した。

講師：長阿彌 幹生 氏（教育文化研究所代表）

(不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座)

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
実施日・回数	令和元年 12 月 ～令和 2 年 2 月 (隔週水曜日・6 回)	平成 30 年 12 月 ～平成 31 年 2 月 (隔週火曜日・6 回)	平成 30 年 1 月～3 月 (隔週火曜日・6 回)
受講者延 人数 (名)	111	81	34

(不登校講演会)

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
実施日	7 月 27 日 (土) 12 月 22 日 (日)	7 月 8 日 (日) 2 月 24 日 (日)	5 月 28 日 (日) 1 月 28 日 (日)
参加者 (名)	74	100	58

3 天拝いこいの館の運営

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
開館日数	263	263	258
足湯利用者数（名）	2,488	2,194	2,160

※交流餅つき 令和元年 12 月 14 日 参加者数 40 名

※クリスマスコンサート（深町宏氏） 令和元年 12 月 20 日 参加者数 49 名

【4】事業内容（介護保険課）

1 コミュニティヘルパー派遣事業（独自事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、高齢者や障がい者、また突然の事故や病気で日常生活に手助けが必要になった方に対し、ホームヘルパーを派遣して、適切な家事援助や軽介護サービスを提供し、在宅生活の支援を行った。

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	6	5	6
年間利用者延人数（名）	264	91	142
年間利用者延人数月平均（名）	22	8	12

2 居宅介護支援事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられた利用者に対してケアプランまたは予防プランを作成してサービス事業者との調整を行った。

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
月平均介護保険ケアプラン作成数（件）	77	85	68
年間介護保険ケアプラン作成数（件）	922	1,019	812
月平均介護予防ケアプラン作成数（件）	24	27	24
年間介護予防ケアプラン作成数（件）	283	321	293
年間ケアプラン総作成数（件）	1,205	1,340	1,105

※（ケアマネージャー数） (6名) (7名) (4名)

3 訪問介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランまたは予防プランで訪問介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、生活援助・身体介護・相談助言のサービスを行った。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	80	90	85
年間利用者延人数（名）	6,594	7,907	7,467
年間利用者延人数月平均（名）	550	659	622

4 訪問入浴介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランで訪問入浴介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	3	2	2
年間利用者延人数（名）	253	240	147
年間利用者延人数月平均（名）	21	20	12

5 障害者等居宅介護事業（障害者総合支援法事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で身体障がい、知的障がいのある方（児童を含む）、精神障がいのある方のお宅にホームヘルパーを派遣し適切な家事及び介護等の日常生活の支援を行った。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	43	49	45
年間利用者延人数（名）	3,003	3,788	3,599
年間利用者延人数月平均（名）	250	316	300

6 入浴サービス事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、重度の身体障がいのため自宅での入浴が困難な方に対して入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	4	4	4
年間利用者延人数（名）	487	453	464
年間利用者延人数月平均（名）	41	38	39

7 訪問型サービスA派遣事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市介護予防・日常生活支援総合事業における、要支援認定もしくは事業対象者に対して、住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう生活援助のサービスを行った。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	7	11	12
年間利用者延人数（名）	168	270	327
年間利用者延人数月平均（名）	14	23	27

8 「食」の自立支援事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、虚弱な高齢者若しくは心身に障がい有する方に対して、夕食の提供及び、一人暮らし高齢者の安否確認を目的として弁当配達を行った。また、ふれあいいきいきサロンの開催をお知らせするなど地域福祉活動との連携を図った。

項 目 \ 年 度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者実人数月平均（名）	123	150	147
年間総利用食数（食）	30,311	37,239	36,692
利用食数月平均（食）	2,526	3,103	3,058
利用食数1日平均（食）	83	102	101

【5】事業内容（施設課）

1 生活介護事業

- ・ 内 容 ⇨ 個別支援計画に基づき、利用者に応じた介助・支援を行った。

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
契 約 者 数(名)	19	20	21
年間利用者延人数(名)	3,106	3,203	3,369
年 間 開 所 日 数(日)	240	240	239
1 日 平 均 利 用 者 数(名)	13	13	14

2 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 夏休み等長期休暇中の障がい児を対象に、生活の安定を図り、自立や社会参加のための支援を行った。

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
契 約 者 数(名)	9	18	26
年間利用者延人数(名)	98	202	236
年 間 実 施 日 数(日)	43	49	50

3 児童発達支援事業所「ちくしのスマイルキッズ」事業

- ・ 内 容 ⇨ 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる未就学児に対し、基本的生活習慣の自立が図れるように、個別及び集団による日常生活に必要な機能訓練や生活指導を行った。

年 度 項 目	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
契 約 者 数(名)	28	35	27
年間利用者延人数(名)	858	1,081	1,039
年 間 実 施 日 数(日)	193	238	224

4 お楽しみ食事会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 食事を通じての楽しみづくりとして、季節にあった食事会を実施した。
- ・ 実施日 ⇨
 - ・ 7月3日 七夕会
 - ・ 8月14日 サマーパーティー
 - ・ 10月28日 秋の収穫祭
 - ・ 3月4日 ひな祭り

5 季節行事活動（生活介護事業）

- 4月⇒お花見（桜・チューリップ・藤）、折り紙で鯉のぼり作成
- 5月⇒いちご狩り、バラ見学 6月⇒アジサイ見学
- 7月⇒七夕会、ひまわり見学 8月⇒サマーパーティー
- 9月⇒かき氷作り、彼岸花見学 10月⇒ハロウィン、コスモス見学
- 11月⇒紅葉狩り 12月⇒クリスマス会
- 1月⇒成人祝い、書初め 2月⇒節 分 3月⇒雛祭り

6 社会体験親睦バスハイク（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 社会見学を通して楽しみや感動、満足感を味わい、経験の幅を広げ社会参加や自立を高める。
- ・ 実施日 ⇨ 5月30日（木）
- ・ 行き先 ⇨ マリンワールド海の中道

7 地域社会参加（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 地域の方や市内各団体、グループの方、福祉関係の大学生とのレクリエーションを通して交流を図り、障がい者福祉への理解を図り交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 11月12日（火）
- ・ 行き先 ⇨ 筑紫女学園大学
参加者数……利用者6名

8 もちつき大会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 九州電力株式会社福岡南営業所職員ボランティア等との交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 12月6日（金）
参加者数⇨利用者14名

9 遠足（児童発達支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 社会のルールを学び、季節の変化を感じられる園外療育として遠足を行い、家族間の交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 11月7日（木）11日（月）
- ・ 行き先 ⇨ 福岡市科学館
参加者数…利用児童・家族9組